

水 土 里 レ ポ ー ト

投稿月日	令和6年6月10日
タイトル	「太陽に向かって大きく育て」 おおつかっ子探検隊がヒマワリの苗を植えてくれました。
水土里レポーター名	長崎県山田原第2土地改良区 力野和久

山田原第2地区内に大塚小学校があります。3年生のおおつかっ子探検隊の皆さんがわが故郷吾妻町をどのようにしていきたいかとの意見を出し合い昨年同様町を花いっぱいにしたいとの意見が出されました。山田原第2土地改良区においても今まで、芝桜、百日紅、ノースポールやコスモスを植えてきましたが、緑肥として作付けしていたソルゴーに代え景観作物として「ヒマワリ」を植えることにし、学校に相談したところ「おおつかっ子探検隊」が植付に来てくれることになりました。当日は、バスで現地まで移動し、理事長より歓迎のあいさつ。早速、植付の説明をして作業開始です。農家の皆さんが次々に苗を運んでくれます。子ども達はショベルで植え込んでいきます。1人で100本ずつ植え、約4,000本の苗が植え込まれました。7月下旬には満開の花が咲く事でしょう。子ども達から是非迷路を作ってくださいとの要望もあり作ることにしました。今年は小学生が植付た500㎡の他に農家の皆さんが機械で播種したものも含めて1ha（約8万本）のヒマワリが満開になることでしょう。雲仙市のグリーンロードを通過の際は一度車を止めてご観覧ください。

【連絡先：0957-38-6266】



【ひまわりの苗を植えるおおつかっ子探検隊と農家のみなさん】